

すそのん報道提供資料

令和6年7月22日



裾野市マスコットキャラクター

不要品リユース事業で「おいくら」と連携を開始
～リユース施策導入でリユース促進と廃棄物削減へ～

市と株式会社マーケットエンタープライズは、2024年7月22日（月）より、地域社会における課題解決を目的としたリユース事業に関する協定を締結し、連携をスタートいたします。マーケットエンタープライズが運営するリユースプラットフォーム「おいくら」を用いて、不要品を捨てずに再利用する仕組みを構築し、裾野市の廃棄物削減と循環型社会の形成を目指します。

詳細は、別紙のとおりです。

問合せ／裾野市 環境市民部 生活環境課 担当：立道 潤
Tel.055-995-1816

担当

裾野市 環境市民部 生活環境課
電話 055-995-1816
担当課長： 井上 英文
担当者： 立道 潤



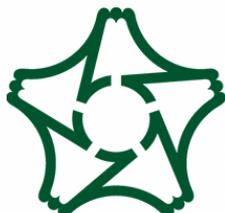
報道関係者各位

2024年7月22日
静岡県裾野市
株式会社マーケットエンタープライズ

静岡県裾野市が不要品リユース事業で 「おいくら」と連携を開始

～リユース施策導入でリユース促進と廃棄物削減へ～

静岡県裾野市(市長:村田 悠)と株式会社マーケットエンタープライズ(東京都中央区、代表取締役社長:小林 泰士、東証プライム・証券コード 3135、以下「マーケットエンタープライズ」)は、2024年7月22日(月)より、地域社会における課題解決を目的としたリユース事業に関する協定を締結し、連携をスタートいたします。マーケットエンタープライズが運営するリユースプラットフォーム「おいくら」を用いて、不要品を捨てずに再利用する仕組みを構築し、裾野市の廃棄物削減と循環型社会の形成を目指します。



■背景・経緯

裾野市では、不要品の仲介を行なう「不用品活用バンク」を通じ、リユース促進に向けて取組んでまいりました。しかしながら、譲渡が成立するまでの間、市民が不要品を保管する必要があることに加えて、認知度向上の課題がありました。そのため、市では、リユース促進につながる新たな施策導入の可能性を模索しておりました。他方、マーケットエンタープライズは、リユース事業を中心にネット型事業を展開し、これまで、「持続可能な社会を実現する最適化商社」をビジョンに掲げ、「地方創生 SDGs 官民連携プラットフォーム」への参画や、「楽器寄附ふるさと納税」実行委員会の一員として活動を続けるなど、官民の垣根を超えた SDGs への取組に注力してまいりました。

そうした中で、マーケットエンタープライズが裾野市に働きかけ、「リユース活動促進による循環型社会の形成を目指したい」という互いのニーズが合致したため、「おいくら」※1を用いた今回の取組が実現いたしました。

※1「おいくら」とは

おいくらは、マーケットエンタープライズが展開する、リユースプラットフォームです。不要品を売りたい方が「おいくら」を通して査定依頼をすると、全国の加盟リサイクルショップに一括査定依頼され、買取価格を比較することができます。一度の依頼だけで不要品の買取価格をまとめて比較し、売却できる手軽さが好評で、これまでおよそ120万人(2024年1月末日)の方にご利用いただいております。

ウェブサイト:<https://oikura.jp/>

■裾野市の課題と「おいくら」による解決策

裾野市では、自己搬入と年2回の粗大ごみの収集を行なっておりますが、大型品や重量のあるものでも、市民がごみステーションなどへ運び出す必要があります。そのため、これまで市には「不要品を自宅の外へ運び出さなくてはいけないのか」などの声が寄せられておりました。「おいくら」は、希望すれば自宅の中まで訪問し、運び出しまで対応する出張買取が可能で、大型品や重量のあるものでも売却が容易にできるようになります。加えて、市では回収を行っていない冷蔵庫や洗濯機などの家電リサイクル法対象製品も、まだ使えるものであれば買取が可能で、不要品売却と受け渡しは、最短だと「おいくら」を通じて買取依頼をした当日に可能となります。なお、市民のサービス利用はもちろん、市の費用負担もありません。

■今後について

7月22日(月)11時(公開時間が前後する可能性があります)に裾野市ホームページ内

(<http://www.city.susono.shizuoka.jp/soshiki/2/4/1/5/17821.html>)へ「おいくら」の情報が掲載され、直接不要品の一括査定申し込みが可能になります。裾野市と「おいくら」の連携により、二次流通の更なる活性化による循環型社会の実現や社会全体での不要品削減が見込まれると共に、自治体の廃棄物処理量や処理コスト削減にもつながります。また、本取組によって、売却という形で簡単に不要品リユースができることを市民が認知することで、「廃棄ではなく、リユースする」という選択肢が増え、多様化する不要品処分ニーズに応えることができます。加えて、市民のリユースに対する意識の変化、循環型社会形成の促進につながります。この官民一体の取組によって、循環型社会の形成に向けた社会的側面・経済的側面の双方の課題解決を目指してまいります。

■静岡県裾野市

裾野市は、静岡県の東、富士山のふもとに広がり、東には箱根外輪山、西には愛鷹連山と豊かな自然に囲まれた工業のまちです。また、「健康文化都市」を宣言し、誰もが健康で、人と自然のふれあいを大切にして、豊かな裾野の文化を作り続けることを目指しています。また、雄大な富士山を望むことができ、宝永火口を正面に眺めることができます。

人口:48,869人(男24,594人、女24,275人)(2024年4月1日)

世帯数:21,675世帯(2024年4月1日)

面積:138.12平方キロメートル

ウェブサイト:<https://www.city.susono.shizuoka.jp/>

■株式会社マーケットエンタープライズ

マーケットエンタープライズは、ネット型リユース事業を中心に、メディア事業、モバイル通信事業などを展開し、「持続可能な社会を実現する最適化商社」をビジョンに掲げ、2006年の設立以来、成長を続けています。2015年6月には東証マザーズに上場。2021年2月に東証一部へ市場変更の後、2022年4月にはプライム市場へ上場しております。ネット型リユース事業では、「高く売れるドットコム」のほか、リユースプラットフォーム「おいくら」や、80か国以上への中古農機具の輸出などで事業拡大を続けており、ネット型リユース事業のサービス利用者は延べ720万人を達成しました。裾野市の「おいくら」サービス導入により、導入自治体は全国で145にのぼります。

「おいくら」自治体向け ウェブサイト:<https://oikura.jp/lg/>

マーケットエンタープライズ ウェブサイト:<https://www.marketenterprise.co.jp/>

【報道関係者からのお問合せ先】

裾野市に関すること

裾野市 生活環境課

担当:立道

Tel:055-995-1816

「おいくら」に関すること

株式会社マーケットエンタープライズ

PR 担当:立花

Tel:03-6675-3923 Mail:pr@marketenterprise.co.jp